

第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画の概要

第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画とは

「第3次推進計画」期間の取組と課題を踏まえ、平成31年度からおおむね5年間にわたる本県の子ども読書活動の推進に関する施策の基本的方針と具体的な方策を明らかにするもの。

第3次計画期間における主な取組と成果

① 家庭・地域

- ・「地域の読書活動グループ活性化研修会」(H25～H27) 延べ514人参加
- ・「子ども読書活動推進スキルアップ研修会」(H28～H30) 延べ713人参加
- ・鹿児島県高校生ビブリオバトル大会(H27年～) H27: 174人→H30: 654人
- ・市町村立図書館・室の司書(補)の有資格者 H25: 181人→H30: 195人

② 学校

- ・「全校一斉読書の実施率」「学校司書の配置率」「1か月間の一人当たりの平均読書冊数」の現状は、すべて全国平均を上回っている。

第3次計画期間中における現状と課題等

【現状】

① 第3次推進計画における達成目標

- ・次の項目が平成30年度までの目標値に達していない。

取組の主体	項目	平成30年度までの目標値	
		H24年度	H29年度末
市町村及び公立図書館・室	公立図書館・室職員及び学校図書館担当職員等を対象とする合同研修会の実施	70%	
		44%	65%
市町村及び公立図書館・室	子ども読書活動に関わる、新たなボランティアを養成する研修会等の実施	70%	
		33%	42%
市町村及び小学校・中学校	学校図書館図書標準の達成	小70% 中55%	
		小52% 中37%	※小65% ※中52%
高等学校	不読率の半減	20%	
		41%	33%
市町村及び公立図書館・室	優れた読書活動を推進している学校や団体、個人の表彰	70%	
		49%	63%

※H28年度文部科学省調査の数値

② その他の調査結果

[1か月間の一人当たりの平均読書冊数]

	H24年度		H29年度	
	本県	全国	本県	全国
小学校	21.7冊	10.5冊	23.5冊	11.1冊
中学校	5.7冊	4.2冊	6.5冊	4.5冊
高等学校	1.8冊	1.6冊	2.0冊	1.5冊

【課題等】

- ・全国的傾向と同様、小→中→高と学校段階が進むにつれて読書から離れる傾向にある。

↓ 解決に向けて

- 読書習慣の形成に向けて、発達段階ごとの効果的な取組を推進
- 友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組を充実

- ・各種研修会を通じて、子どもの読書活動の推進に関わる人材を育成する必要がある。
- ・図書館資料の充実に向けた学校図書館図書標準の計画的な達成が不十分である。
- ・学校、民間団体及び個人における優れた取組の奨励を一層推進する必要がある。

↓ 解決に向けて

- 数値目標を設定

基本的方針

- ◆読書環境の整備に社会全体で取り組む。
- ◆発達段階ごとに効果的な取組を推進する。
- ◆「1日20分読書」運動を通して「心に残る1冊の本」と出会えるよう取り組み、読書活動を推進していく。

「1日20分読書」運動 ～心に残る1冊の本との出会い～

乳幼児期	絵本や物語を読んでもらうことで出会おう。
小学生期	多くの本を読み、読書の幅を広げることで出会おう。
中学生期	内容に共感・感動したり、将来を考えたりしながら読むことで出会おう。
高校生期	知的興味に応じて一層幅広く読書をすることで出会おう。

- ◆友人等からの働き掛けを伴う、子ども同士で本を紹介するような活動を充実させる。

第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画

推進のための主な方策

改訂のポイント

- ① 発達段階に応じた取組により、読書習慣を形成する。
- ② 友人同士で行う活動を通じ、読書への関心を高める。

家庭における取組

- ◆ 読書習慣の形成
 - ・ 「1日20分読書」運動への取組
 - ・ 我が家の「読書の日」「読書の時間」の設定
- ◆ 家庭への支援
 - ・ ブックスタート事業
 - ・ 読書の重要性についての理解を促すための講座等の実施
〈現状：79.1%→H35年度：90.0%〉
 - ・ 読み聞かせやわらべ歌に親しむ活動をはじめとする家族が触れ合う機会の提供
 - ・ 発達段階に応じた本の紹介

学校等における取組

- 【幼稚園・保育所等】
- ◆ 計画的な取組の推進や多様な読書活動の実施による読書活動の推進
 - ・ 絵本や物語に親しむことができるような活動の推進 等
 - ◆ 家庭、地域との連携による読書活動の推進
 - ・ 読み聞かせを参観する機会の提供
 - ・ 親子読書グループとの連携
 - ◆ 読書活動推進のための幼稚園や保育所等の機能強化
 - ・ 読書環境の整備
 - ・ 乳幼児の読書の状況についての校種間連携 等
- 【小学校・中学校・高等学校】
- ◆ 学校の実態や子どもの成長に応じた取組の推進
 - ・ 学校図書館図書標準の達成
〈現状：小64.8% 中52.0%→
H35年度：小85.0% 中70.0%〉
 - ・ 子ども同士で行う活動や多様な読書活動の実施
 - ◆ 家庭・地域との連携による読書活動の推進
 - ・ 関係機関との連携による就学前の読書体験や読書習慣についての状況把握
 - ◆ 読書習慣の確立・読書指導の充実
 - ・ 不読率の改善
〈高等学校 現状：33.0%→
H35年度：26.0%〉
 - ・ 友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組の実施
〈高等学校 H35年度：全校実施〉
 - ◆ 障害のある子どもの読書活動の推進
 - ・ 障害の状態に応じた選書や環境の工夫、視聴覚機器等を活用した実践例の紹介

↔
連携

↕
連携

↔
連携

地域における取組

- ◆ 発達段階に応じた読書活動や図書館資料に関する情報提供
- ◆ 学校図書館との連携・協力
 - ・ 読書活動や研修会等への支援
- ◆ 高校生の不読率改善に向けた取組
 - ・ 高校生が薦める本のコーナー設置など、友人同士で本を薦め合う活動の促進
- ◆ 司書及び司書補の資質向上
 - ・ 公共図書館・室職員及び学校司書等を対象とする合同研修会の実施
〈現状：65.1%→H35年度：80.0%〉
- ◆ 障害のある子どもの読書活動を推進するための諸条件の整備・充実
- ◆ 子どもの読書活動に関わる、新たなボランティアを養成する研修会等の実施
〈現状：41.9%→H35年度：70.0%〉

子どもの読書への関心を高める取組

- ◆ 友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組
→ 読書会、図書委員、「子ども司書」、ブックトーク、書評合戦（ビブリオバトル）等

子どもの読書活動に関する啓発・広報

- ◆ 「子ども読書の日」を中心とした取組
- ◆ 学校、図書館、民間団体等における各種情報の収集・提供
- ◆ 学校、民間団体及び個人における優れた取組の奨励
〈現状：62.8%→H35年度：70.0%〉

推進体制の整備

- ◆ 子どもの読書活動の推進体制の整備
- ◆ 地方公共団体における連携・協力体制の整備
- ◆ 各種団体等との連携・協力の促進